

【報告】

「爪病変大事典」 —クラウドファンディングを使ったドイツ爪の専門書 「Das große Buch der Nagelerkrankungen」の翻訳出版—

藤井恵^{1,2)}

1) 日本語出版実行委員会

(〒520-2145 滋賀県大津市大將軍3丁目20-1, 202号nihonngo.jimukyoku@gmail.com)

2) 快適な靴と足 WOHLTAT

(受付日：2022年11月30日, 受理日：2022年12月20日)

要旨：ドイツのフットケア国家資格であるポドローギン保有者のAnke Niederau(アンケ・ニーデラウ)先生が書かれたこの本は、ドイツの足学Podologie(ポドロギー)に基づいた爪に関する知識・技法、写真も多く掲載されており、とても分かりやすい本です。本の中には「靴・靴下の適合」についても書かれています。出版会社で翻訳出版ができず一度は諦めかけましたが、クラウドファンディングと多くのご支援、多くの仲間と専門の先生方のご協力で、2020年3月に日本語版「爪病変大事典」が完成しました。本ができるまでの秘話をご紹介します。

キーワード：クラウドファンディング, 爪, 靴, フットケア, ドイツ

I はじめに

「Das große Buch der Nagelerkrankungen」はドイツのフットケア国家資格を持つ A n k e Niederau(アンケ・ニーデラウ)先生が書かれたポドロギー(足学)に基づいた爪に関する知識・技法、靴・靴下の適合などに関する書籍で2016年に発行されました。ドイツではフットケアの資格として民間資格であるフースフレーガー(男性)／フースフレーガリン(女性)、国家資格であるポドローゲ(男性)／ポドローギン(女性)の2つが存在します。前者は審美的なフットケア、後者は保険適応施術が可能であり医療現場や介護施設などで医療的なフットケアを提供しています。ドイツでは足の学問Podologie(ポドロギー)を専門学校で学ぶことができ、専門書も多く存在します。中でもアンケ先生のこの書籍は爪に関する知識・技法などフットケアに従事する方々にとって、大切な事が多くの写真と共にわかりやすく紹介されています。2020年3月にその日本語訳である「爪病変大事典」を出版いたしました(図1, 2)。



図1 左：爪病変大事典
右：ドイツ語原本 第3版



図2 2020年3月ドイツデュッセルドルフにて著者アンケ・ニーデラウ先生に日本語版を渡す
(左から通訳, 監修のペーレ操さん,
アンケ先生のご主人, 著者アンケ先生, 筆者)

II 本との出会いから本を作るきっかけ

私がこの本と出会ったのは2015年3月のことです。パリで開催されたIVO Paris World Congress IVO学術大会参加後、フスウントシューインスティテュートが主催する「フスフレーゲマスター研修ツアー」に参加していました。診療所、オーソペディなどフットケアに関する会社の訪問をし、足の専門学校「Ulm Kollege (ウルムコレグ)」にてフットケアの実習や研修を受講しました(図3)。



図3 研修でフットケアの指導を受ける筆者

研修ツアーの最終日にデュッセルドルフで開催された、ビューティーメッセにてこの本に出会いました。写真が多く掲載されたこの本は、ドイツ語が分からない私にも「理解できるのでは？」と思い購入しましたが、専門用語が多く理解ができませんでした。「どうしても日本語で読みたい！」と思い、出版社と交渉をしましたが、協力を得ることが出来ず断念しました。それでもどうしても諦めきれず、FUSS2018展示会に合わせ通訳者のベーレ操さんの協力を仰ぎ、2018年10月に著者アンケ先生から直接この本への思いなどを聞きにドイツへ向かいました。

幸運なことにツアーの最終日にデュッセルドルフにて、アンケ先生の施術を直接受けることができました(図4)。アンケ先生は施術前に私の足、靴、靴下を確認して、問題点を指摘してから施術をしてくださいました。この時の「爪変形、足部変形、実際の変形は90%が靴の影響で靴下の適合も必要。靴と靴下の適合が無ければ、ケアをしても意味がない」という言葉と、実際の施術体験にとっても感動し「書籍の日本語訳を絶対に作る！」という強く決意しました。



第3趾に巻き爪のワイヤー



靴下のチェック



靴のチェック

図4 著者先生の施術を受ける筆者

III クラウドファンディングと多くのご支援、 専門家の力でできた本

ドイツの研修から戻って、まずこの本のニーズを調べるために「ドイツ研修報告会」を開催しました。するとやはり参加者からは「欲しい」という希望が多く寄せられました。次に本を作るための資金調達として、クラウドファンディングを行いました(図5)。目標金額を420万円とし、2019年6月25日から8月8日の44日間公開し

た結果、139%の587万円のご支援を賜りました。その他、個人、団体、病院、店などの協力でさらに多くのご支援をいただき、翻訳・本制作ができる資金が集まりました。そしてドイツ語から日本語に翻訳、本の制作をするためにも、多くの専門家にご協力をいただきました(図6)。



図5 実際のクラウドファンディングのページ (Readyfor (レディフォー) のサイトページ)

翻訳 黒崎かおり ROSENWEG 代表 ポドローギン(ドイツ国家資格)
 松原 朋子 翻訳者 ポドローギン(ドイツ国家資格)
 監修 青宿 操 株式会社フィートバック取締役、日独通訳者
 独フースフレーガリン(ドイツ民間資格)
 校正 大城 郷子 株式会社フィートバック
 編集 伊東 香 編集・ライター
 査読 塩之谷 香 塩之谷整形外科 院長
 高山かおる 済生会 川口総合病院 皮膚科 主任部長
 中西 健史 滋賀医科大学 皮膚科 病院教授
 山口 健一 爪と皮膚の診療所 形成外科・皮膚科 院長
 竹内 一馬 医療法人たけうち 六本松 足と心臓血管クリニック 院長
 中村 美紀 合資会社ノアール・ブラン 代表
 JPポドロジースクール アカデミー オブ トータルセラピー 学院長
 印刷・製本 うめだ印刷株式会社

図6 制作にかかわった専門家の先生方 (書籍より引用)

IV 書籍の著作権と書籍の内容

この本はドイツのVerlag Neuer Merkur GmbHより、2009年に初版が発行され、その後改訂版が出版されています。その後加筆修正され、ドイツ語では2020年に第4版、2022年に第5版が出版されています。「爪病変大事典」のもととなった第3版は2016年に発行され、日本語以外にもロシア語、チェコ語、英語、ラトビア語にも翻訳されています。著作権の契約には時間がかかりましたが、ドイツ出版社とのメールでのやり取り

で、何とか翻訳出版許可の著作権を取得しました。

「爪病変大事典」の内容は、序論、爪の構造、爪病変、創傷保護、オートニクシー、人工爪造形法、タンポナーデとテーピング、爪処理用器具、総括、爪病変の判別分布などです。日本語詳細が掲載されていて、とても読みやすくなっております(図7)。この本は660冊限定で、すべての本にナンバーリングをいれて販売し、現在すべて完売しています。

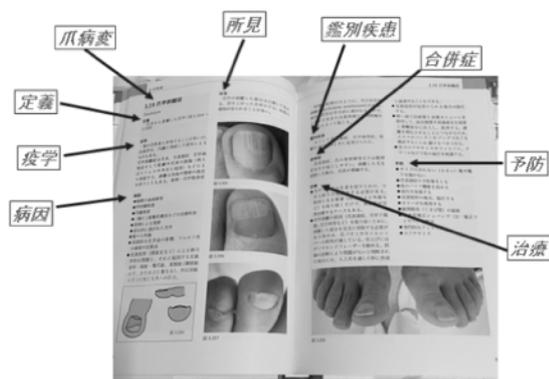


図7 実際の本の内容の一部

V さいごに

この本の日本語訳の出版はとても大変なことばかりでした。出版社の協力を得ることができず自費出版となったことから始まり、資金の調達、ドイツ出版社から翻訳出版の許可を得ることなど様々な苦労がありました。それでもドイツでのアンケ先生の施術を経験して「書籍の日本語訳を絶対に作る！」と決意した思いを諦めずに前に進んだことで扉が開き、多くの協力者にご支援をいただくことができました。特に私の思いに共感・賛同し、制作から出版まで支えてくれた日本語出版実行委員会のメンバーがいなければ、この本はできなかつたと思います(図8)。多くの皆様のご協力・ご支援によってこの本が完成いたしました。制作・出版に携わってくださった全ての皆様に心より感謝を申し上げます。



図8 日本語実行委員会メンバー

(後列左から古屋智美, 吉川正美, 中尾智子,
中村恭子, 前列左から森山めぐみ, 松本洋子,
筆者, 中塚絵美)

また現在加筆修正され出版されたドイツ語の最新版である5版の日本語翻訳本と著者アンケ先生の来日も計画しています。

最後にアンケ先生からいただいたお言葉を紹介いたします。

「私たちの素晴らしい職業において、多くの成功をお祈りいたします。」(Viel Erfolg in unserem schönen Beruf. 5.18.18 Anke Niederau)

文献

- 1) 爪病変大事典, 日本語出版実行委員会, 2020
- 2) Anke Niederau : Das große Buch der Nagelerkrankungen 3 Verlag Neuer Merkur GmbH, 2016.